Q 配管同士の離れ距離が確保できているかを確認したい

A [干渉検査]の[離隔]で距離を設定します

干渉検査の[離隔]で、設定した離隔距離が確保できているかを 確認できます。



[干渉検査]パネルの[▼]をクリックし、[検査ルート]タブで、検査を行うルートの種類にチェックを入れます。



。 [離隔]タブをクリックし、離隔距離を検査するルートと要素の種類にチェックを入れて確保する距離を入力します。

 ● カレンドビューのみ検査する ● カレンドビューのみ検査する ● カレンドビューのみ検査する ● グロ管ルート ● グロビデルート ● グロドシート ● ブロドシート ● ブレントビューのみ検査する ● ブレントビューのみ検査する ● ブレントビューのみ検査する ● ブレントビューのみ検査する ● ブレントビュータのから ● ブレントビューのみ検査する ● ブレントビューのみ検査する ● ブレントビュータのから ● カレントビュータのから ● カレント ● カレント ● カレント ● カレントビュータのから ● カレント ● カレント ● ロシント ● カレント ● カレント ● ロシント ● ロシント	開始する		体を検査する		-	_
検査ルート 検査対象 離隔 部隔 支示数(0) その他 フィルタ 図 配管ルート ダクトルート 電気ルート ダクトルート 電気ルート NO. ①要 150 mm 150 mm 150 mm 150 mm WB 150 mm 150 mm 150 mm 150 mm 150 mm WO. ①要 電気 150 mm 1 配管同士の離隔を確認する場合、[配管 課 100 mm 1 をโ 配管]にチェックを入れ、数値入力欄I 社 100 mm 1 を入力します。 天井 250 mm 250 mm	1912 0 2 0	● カレントビューのみ検査する				
干渉位置 R 表示数(0) フイルタ 図管 150 mm 0 150 mm 150 mm 2 の 型 電気 150 mm 1 150 mm 150 mm 1 20 mm 150 mm 1 20 mm 150 mm 1 20 mm 150 mm 150 mm 1 配管同士の離隔を確認する場合、[配管 梁 100 mm 1 と[配管]にチェックを入れ、数値入力欄[1 社 100 mm 1 を入力します。 天井 250 mm 250 mm		検査ルートな	検査対象 <mark>離隔</mark>	その他		
表示数(0) 7 パルタ ○ 配管 150 mm 150 mm 150 mm ○ 少か 150 mm 150 mm 150 mm 1	干渉位置 🕅		🗹 配管ルート	🔲 ダクトルート	🗌 電気ルート 🥡	
24/J名 ダクト 150 mm 150 mm 150 mm NO. ①要 電気 150 mm 150 mm 150 mm 機器 150 mm 1 配管同士の離隔を確認する場合、[配管 梁 100 mm 1 と[配管]にチェックを入れ、数値入力欄I 社 100 mm 1 を入力します。 天井 250 mm 250 mm 250 mm	表示数(0)	☑ 配管	150 mm 📐 🗨	150 mm	150 mm	
NO. ①要 □電気 150 mm 150 mm 150 mm 150 mm 150 mm 160 mm 170 mm	วามร	🗌 ダクト	150 mm	150 mm	150 mm	
 □ 機器 □ 150 mm □ 配管同士の離隔を確認する場合、[配管 □ 梁 □ 160 mm □ と[配管]にチェックを入れ、数値入力欄 □ 日 □ 100 mm □ た □ 250 mm □ 250 mm □ 250 mm □ 250 mm 	NO. ①要	🗌 電気	150 mm	1E0	150	
 □梁 100 mm □ と[配管]にチェックを入れ、数値入力欄I □ 柱 100 mm 1 を入力します。 □ 天井 250 mm 250 mm 250 mm 		□ 機器	150 mm	1 配管同士	の離隔を確認	する場合、[配管ルー
□ 柱 100 mm 1 を入力します。 □ 天井 250 mm 250 mm 250 mm		□梁	100 mm	1 と[配管]に	チェックを入れ	ι、数値入力欄に距離
□ 天井 250 mm 250 mm 250 mm		□ 柱	100 mm	1 を入力しま	とす 。	
		口天井	250 mm	250 mm	250 mm	
□床 100 mm 100 mm 100 mm		□床	100 mm	100 mm	100 mm	



[干渉検査]パネルに干渉個所、離隔距離が確保できていない箇所(離隔不足)がリストアップされ、図面上にはリ スト内の番号を示すバルーンが表示されます。



リストの[内容]で「離隔不足」と表示されている行をクリックすると、図面上で該当する番号と要素が赤色で表示されます。



4

Rebro よくある質問

5 配管を移動し、離隔距離が確保された場合、[干渉検査]パネルから離隔不足の行が消え、図面上のバルーンも 消えます。



●補足説明

離隔は、要素を内包する最小の直方体からの距離で計算し、この距離内 に他の要素(を内包する直方体)がある場合、離隔不足と判定されます。 ただし、検査する要素同士が平面的に近接していても、高さ方向に距離が ある場合は離隔不足とはなりません。



●補足説明

配管、ダクトのプロパティ[保温]-[保温の表示]が「非表示」の場合、図面上に保温は表示されませんが、[干渉検査]パ ネルの[▼]をクリックし、[検査ルート]タブの[検査ルートの保温厚を検査する]にチェックを入れて実行した場合、配管、 ダクトの保温厚を反映して離隔距離を検査します。

